

# 地域別実行計画

## -大山地域-

富山市

# 大山地域全体図





---

# 目 次

---

1. はじめに .....	1
(1) 計画の位置付け .....	1
(2) 計画の策定の方法 .....	3
2. 地域特性 .....	4
(1) 地形的特徴 .....	4
(2) 人口 .....	4
(3) 文化・歴史 .....	6
(4) 交通 .....	8
(5) まちづくり .....	9
(6) 民間施設の立地状況 .....	12
3. 公共施設 .....	13
(1) 現況 .....	13
(2) 課題 .....	17
(3) 課題の解決策 .....	20
4. 公共施設の再編方針 .....	23
(1) 拠点となる施設等 .....	23
(2) 公共施設の再編方針 .....	23
5. 優先して取り組むべき個別具体施設の整備方針 .....	26
(1) 基本方針 .....	26
(2) 整備方針 .....	27
6. おわりに .....	29



# 1. はじめに

## (1) 計画の位置付け

富山市は、公共施設等の管理を計画的に行い、限られた財源の中で将来にわたって適切な維持管理を行うため、公共施設マネジメントの取り組みを進めています。公共施設等の更新や統廃合、長寿命化などを計画的に行うことを目的として平成 28 年度に「富山市公共施設等総合管理計画（以下、総合管理計画）」を策定しました。この計画をより進めるため、平成 29 年度には「富山市公共施設マネジメントアクションプラン 戦略編・実行編（以下、アクションプラン）」を策定し、今後の公共施設等の具体的な見直しの方向性を示しつつ、公共施設等の再編を目指しています。

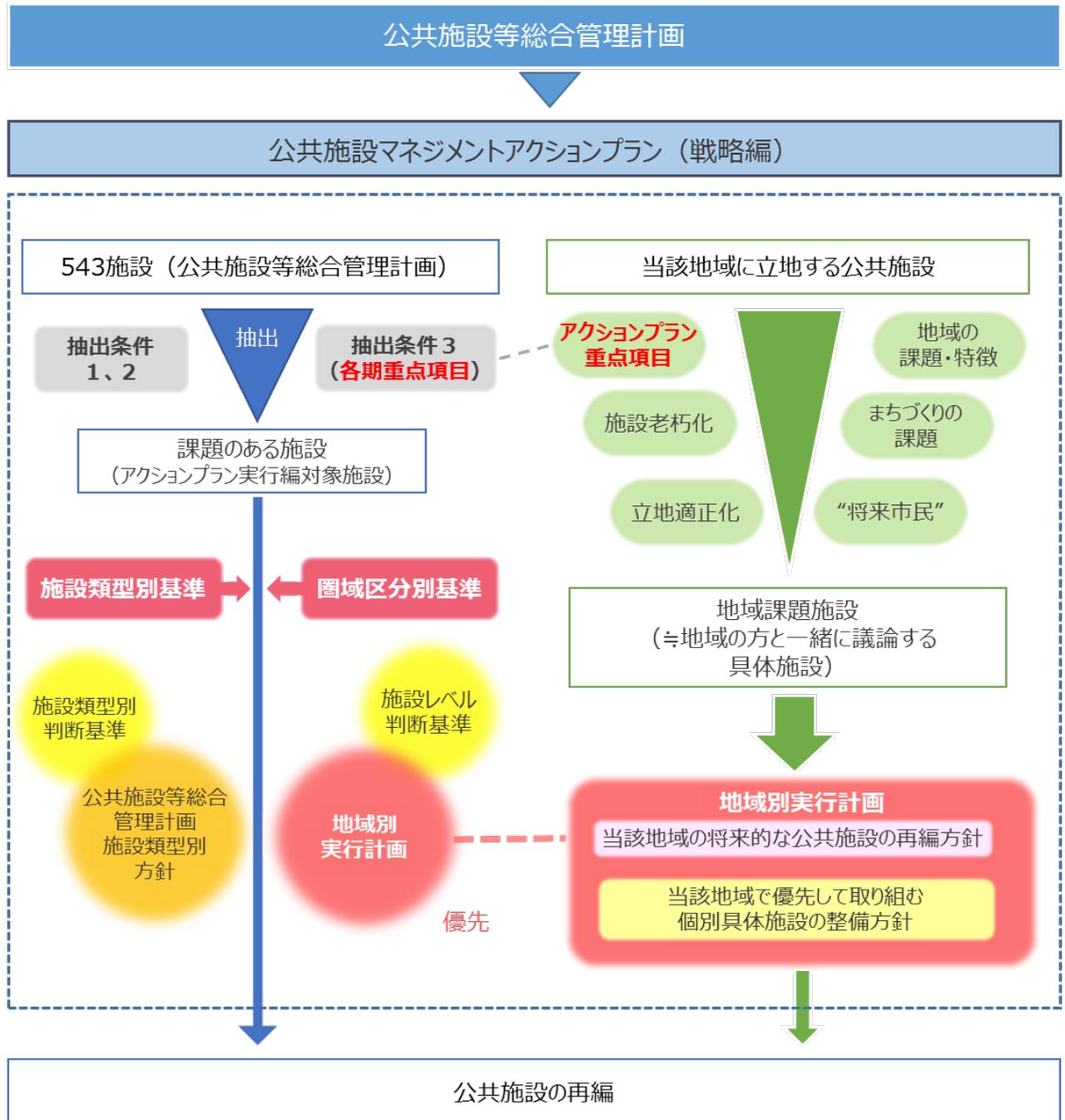
公共施設等の再編は具体的には、以下の 2 種類の方法で実施していきます。

- ① アクションプランで定める「課題のある施設」について、「施設類型別基準」及び「圏域区分別基準」に従い、存続の可否及び複合化・改修・改築・廃止等の整備手法を定めます。
- ② 地域ごとに立地する施設を対象として、各地域のまちづくりと公共施設等の課題に即して、それらを解決するための将来的な施設整備の方向性の検討、及び特に優先して取り組んでいくべき具体的な施設について、存続の可否及び複合化・改修・改築・廃止等の整備手法を定めます。

「地域別実行計画（以下、本計画）」は、②の地域ごとの施設整備の方向性検討、優先して取り組んでいくべき施設の整備手法を定めるものです。

本計画は、地域の状況を踏まえた、公共施設等の再編を具体的に進めていくために定める方針であり、地域の課題解決に資するものです。富山市都市マスタープランにより定めた富山市内の 14 地域ごとに本計画を策定し、公共施設等の再編に活用していきます。

図表 1 公共施設等の見直し検討プロセス



## (2) 計画の策定の方法

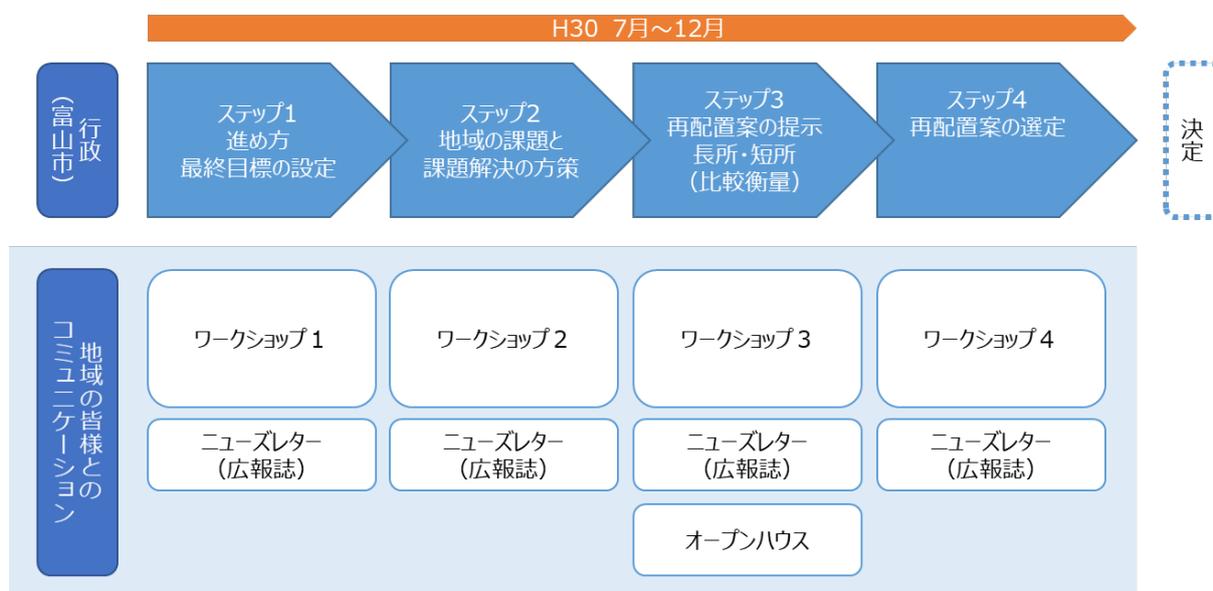
本計画における、公共施設の整備の方向性は、原則として総合管理計画において定めた施設類型別方針や、アクションプランにおいて定めた施設類型別判断基準と整合を図りつつ検討していきます。

また、地域の課題、まちづくりの課題の抽出にあたっては、富山市都市マスタープランや富山市立地適正化計画等の既存計画を踏まえて行っていきます。

地域の実情をきめ細やかに把握していくため、また、将来を見据えたまちづくりや施設整備のあり方については、地域にお住まいの方々の思いと合致させていくことが必要不可欠と考え、市民の参加による計画づくりを行いました。大山地域の35名の方々に参加いただき、ワークショップを4回開催して活発な議論をいただきながら検討を重ねました。

また、大山地域のより多くの方々からご意見をいただくために、ニュースレター(広報誌)を地域内の全戸に配付したほか、計画案をパネル展示して直接ご意見をいただくオープンハウスを開催しました。

図表 2 地域の皆さんの参加による計画づくり



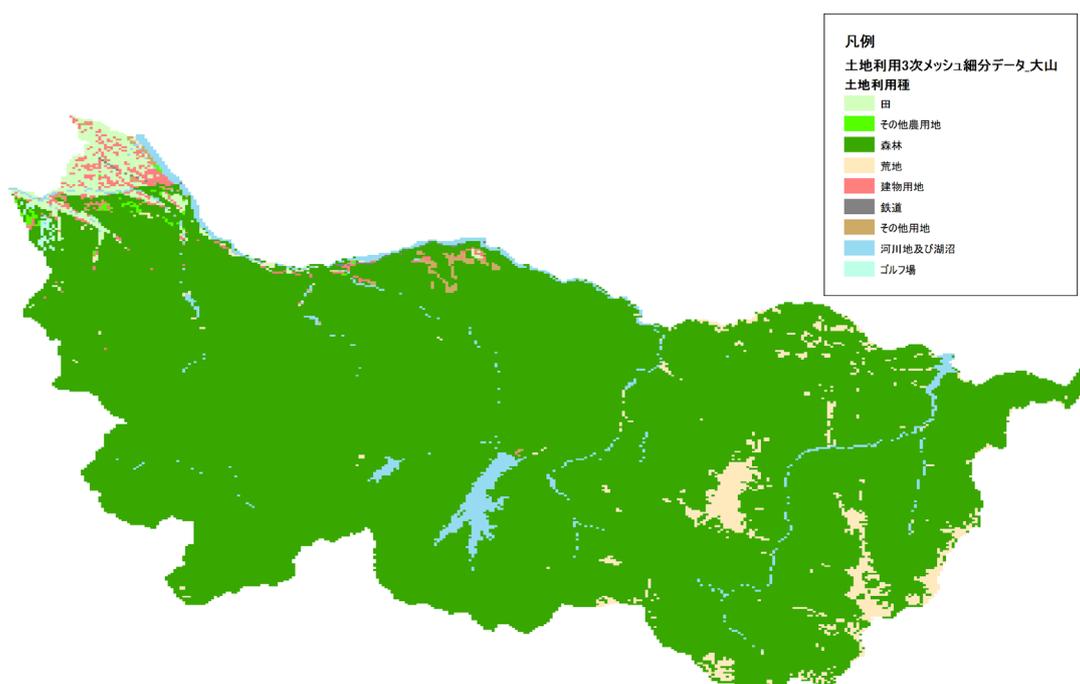
## 2. 地域特性

### (1) 地形的特徴

大山地域は富山市の南東に位置し、市内の他の地域では富山南部地域、富山東部地域、大沢野地域、他自治体では立山町などと隣接しています。面積は約 572k m<sup>2</sup>で、富山市にある 14 地域の中でも最も広く、東西に大きく広がっています。その大きさは市の面積の約 46%を占め、土地利用をみると約 9 割以上が森林となっており、非常に緑の多い地域であることが分かります。

広い面積を持つ大山地域ですが、建物用地は地域の北西部に固まっており、その他に常願寺川に沿っていくつかの集落がみられ、面積に比して可住地域は限られている傾向にあります。一方で、その豊かな自然を活かし、古くは農林業や鉱業、近年はダム建設による電源開発やスキー場などの観光開発を通して発展してきました。

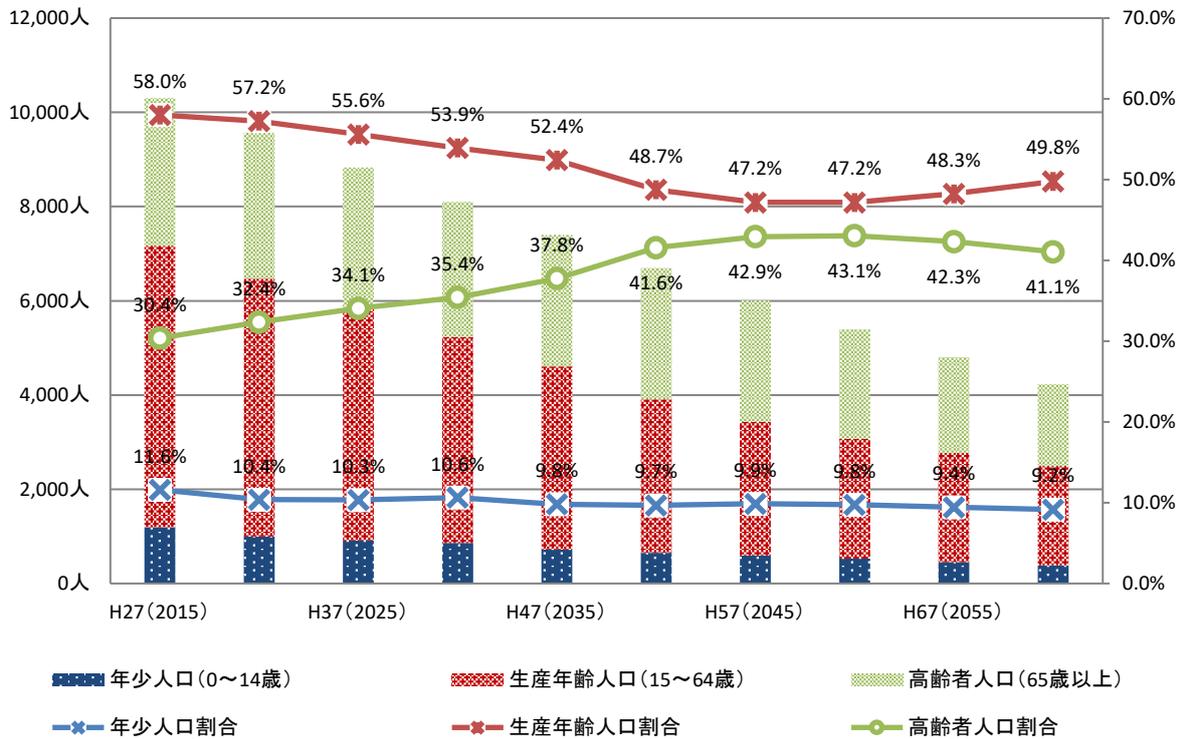
図表 3 大山地域の土地利用



### (2) 人口

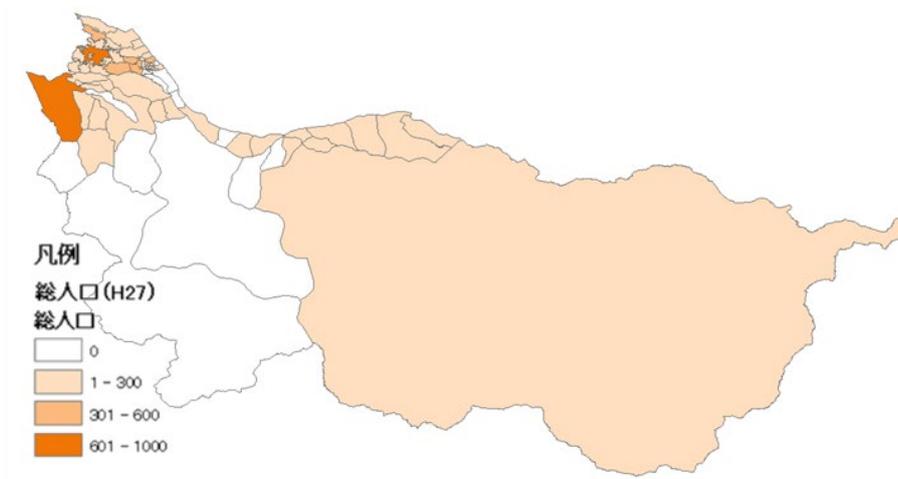
2015年（平成27年）時点での大山地域の人口は10,300人となっています。今後の人口推計によると、2060年（平成72年）までに約6割減少し、4,200人程度になると予測されます。人口区別にみると、年少人口、生産年齢人口、高齢者人口のすべての区分で大きく減少すると予測されます。

図表 4 大山地域の人口推計

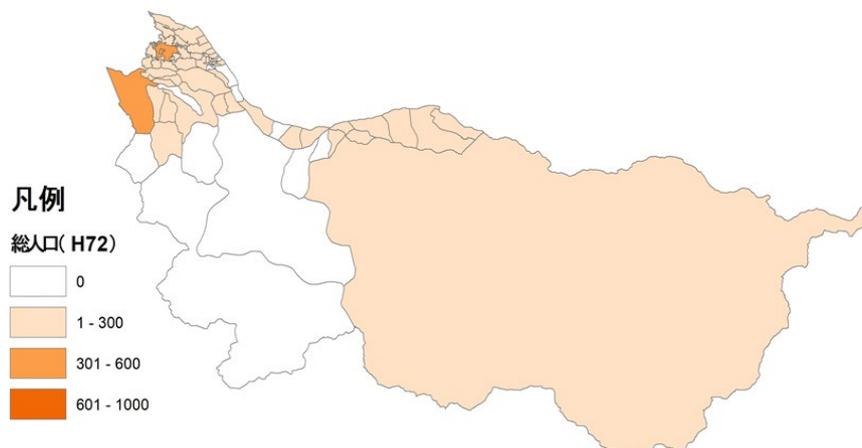


2015年（平成27年）の町丁目別の人口分布をみると、大庄地区の一部や、福沢地区の大沢野寄りの一部、上滝駅周辺に集中していることがわかります。2060年（平成72年）には、大庄地区、福沢地区の一部に人口が集中することが予想され、その他の地域では減少、もしくは現状維持の傾向となっています。

図表 5 大山地域の人口分布（平成27年）



図表 6 大山地域の人口分布（平成 72 年）



### （3）文化・歴史

大山地域は、古くから豊かな自然の地形を活かし、電源開発が進められてきた歴史があります。また、芸術・文化の面でも特色のある地域です。

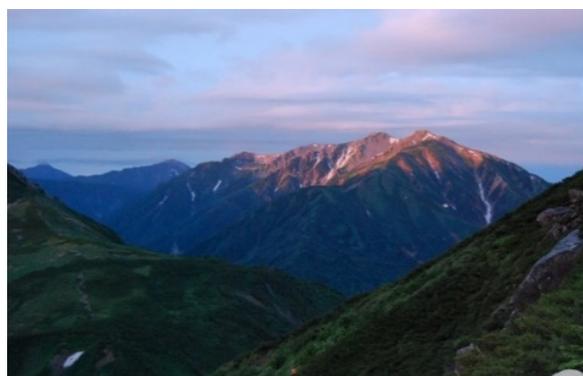
#### 1) 山とのかかわり

立山連峰の名山として知られる薬師岳は、古くから山岳信仰の対象とされ、修行や信仰のために多くの人々が登拝し、旧大山町時代には町民憲章に町民の象徴として謳われてきました。また、薬師岳のふところにある有峰は自然公園地として整備され、小見地区から有峰林道が整備されています。その美しい景観は、市民の憩いの場になっています。

図表 7 大山地域の山岳



有峰ダム



薬師岳

## 2) 治水と電源立地の歴史

大山地域は治水と電源開発の基地の町として発展してきました。日本一の急流河川であり、度々氾濫を繰り返す常願寺川の治水工事を行うため、左岸にあった複数本の用水を上滝地区に合口化し、常西合口用水を開削しました。この治水工事を行う人々の中から、上滝地区に定着する人々があられ、大山地域の中心部を形成しました。また昭和に入って治水工事が減少してくると、それと引き換えに豊富な常願寺川の水量を利用した電源開発事業が進められました。昭和 10 年代からは有峰ダムの建設が始まり、このダム工場の基地として大山地域は急速に発展しました。

図表 8 大山地域の発電設備



常西合口用水を利用した小水力発電

## 3) 地域の祭り・イベント

大山地域の各地区で特色のある祭りやイベントが開催されています。

### ①ごんべ祭り

「ごんべ」とは、気のあう仲間が家々から食べ物を持ち寄って談笑したり宴会を楽しんだりする、という意味の方言で、常西合口用水沿いの桜並木の下で開催される春のお祭りです。店の料理満足度やパフォーマンスなどを競う、出店のコンテストも開催されています。

### ②おおやま佐々成政戦国時代まつり

毎年 7 月に開催されている鞆崎山の埋蔵金伝説や真冬のさらさら越えで知られる戦国武将「佐々成政」にちなんだお祭りです。勇壮な戦国武者行列や埋蔵金伝説をモチーフとした埋蔵金探しなどが行われています。

### ③LIVING ART in OHYAMA

毎年 8 月に開催されている、「木と出会えるまちづくり」をテーマにした、参加型のアートイベントです。福沢地区を発端として平成 16 年から開催されており、アート体験を通じて自然を大切にすることを育み、芸術文化の「創造」に触れることができます。

図表 9 大山地域の祭り・イベント



ごんべ祭り



おおやま佐々成政戦国時代まつり



LIVING ART in OHYAMA

#### (4) 交通

大山地域には、富山地方鉄道上滝線・立山線の鉄道駅が 5 駅（大庄駅、上滝駅、大川寺駅、有峰口駅、本宮駅）あり、中でも上滝駅は乗降客数が最も多く、353 人/日となっています。

路線バスは富山地方鉄道バスが 2 系統、富山市コミュニティバスが 6 路線運行しています。

図表 10 鉄道運行状況（平成 31 年 3 月現在）

駅	乗降客数	運行本数（平日）	運行本数（ピーク）
大庄駅	200 人/日	30 本（岩嶺寺方面）	3 本/時
上滝駅	353 人/日	30 本（岩嶺寺方面）	3 本/時
大川寺駅	130 人/日	30 本（岩嶺寺方面）	3 本/時
有峰口駅	79 人/日	18 本（期間運転含）	2 本/時
本宮駅	31 人/日	16 本（期間運転含）	2 本/時

図表 11 バス運行状況（平成 31 年 3 月現在）

路線バス	系統	運行本数（平日）
富山地方鉄道バス	月岡団地経由福沢	13 本
	富山国際大学	16 本
富山市コミュニティバス	才覚地線	5 本
	小坂線	5 本
	西小俣循環線	5 本
	棚ヶ原線	3 本
	小佐波線	2 本
	大庄循環線	4 本

図表 12 大山地域の公共交通路線図



## (5) まちづくり

富山市では今後の少子高齢化、人口減少などの時代変化に対応するため、平成 20 年 3 月に「富山市都市マスタープラン」を策定し、公共交通を軸とした拠点集中型（お団子と串）のコンパクトなまちづくりを進めています。

富山市都市マスタープランでは、大山地域の中でも上滝地区の上滝駅周辺の地域を地域生活拠点として位置付けています<sup>1</sup>。また、福沢地区にある富山国際大学周辺は学術文化拠点、常願寺川沿いをスポーツ・レクリエーション拠点及び治水に関わる歴史景観拠点として位置付けています。

「富山市立地適正化計画」は、富山市都市マスタープランで定めたまちづくりの方針に従い、市町村が都市全体の観点から作成する、居住機能や福祉・医療・商業などの都市機能の立地、公共機能の充実等に関する包括的なマスタープランで、平成 29 年 3 月に策定されました。

立地適正化計画では、駅やバス停の徒歩圏に「居住を誘導するエリア（居住誘導区域）」と「都市機能を誘導するエリア（都市機能誘導区域）」を定めてコンパクトなまちづくりを進めることとしており、大山地域の中では上滝駅と大川寺駅から半径 500m 内の用途地域が設定されている範囲を、居住誘導区域及び都市機能誘導区域として定めています。

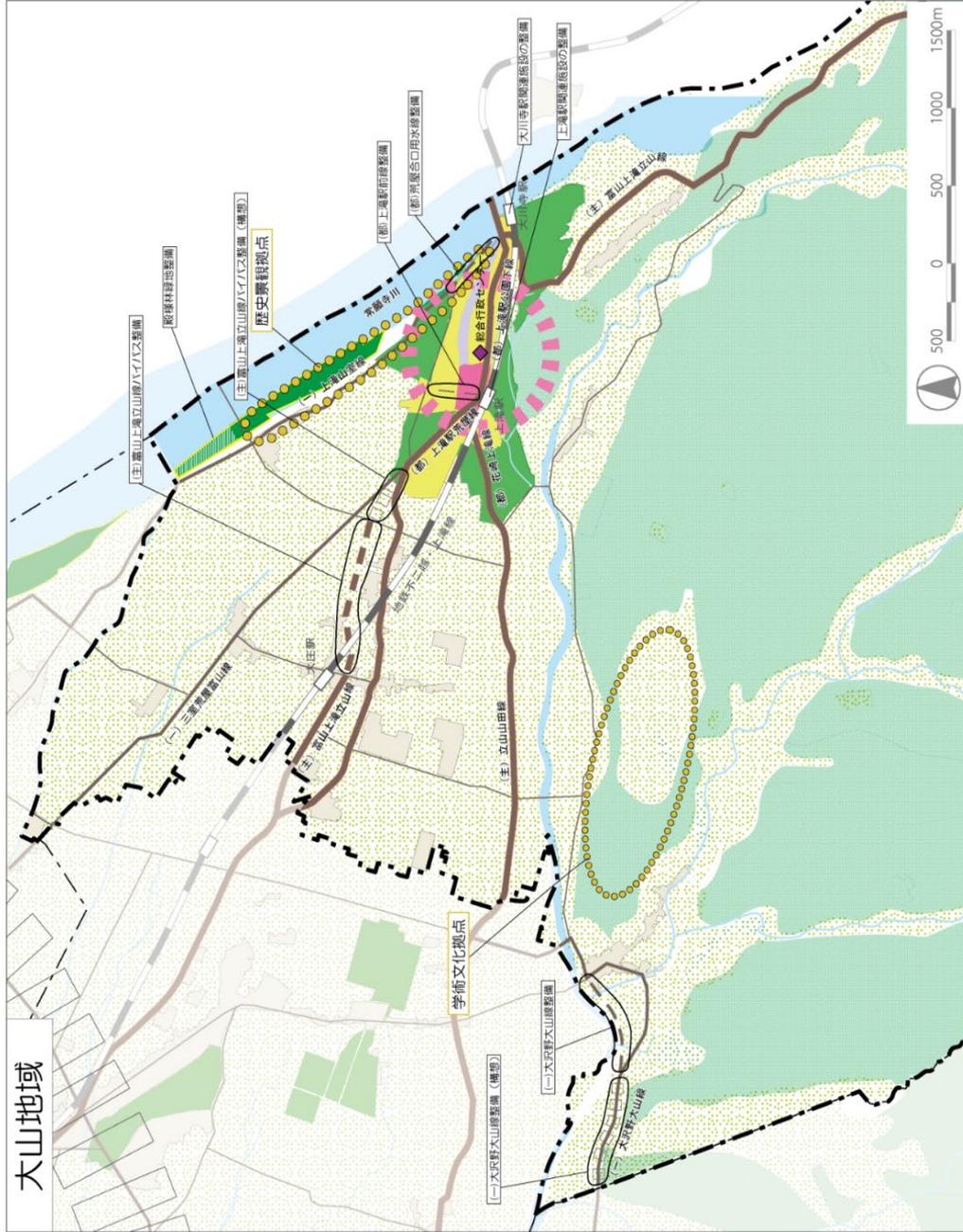
<sup>1</sup> 立地適正化計画によると、地域生活拠点には、日常生活に必要な商業等の諸機能の集積を図ることとしています。

図表 13 大山地域の土地利用方針

商業系	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域生活拠点である上滝駅周辺は、地域商業地区と位置付け、駅周辺及び駅前商店街を中心に、最寄り品小売業や金融機関、公共公益施設の充実を図ります。</li> </ul>
産業系	<ul style="list-style-type: none"> <li>・田園空間や河川空間に接する市街地の縁辺部は、戸建住宅を主体とした住宅専用地区として位置付け、良好な住環境の形成を図ります。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地鉄不二越・上滝線の北側や上滝駅南側は、一定規模の商業機能が立地可能な住居地区として位置付け、利便性と快適性を兼ね備えた住宅地として形成します。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域商業地区と大川寺駅を結ぶ道路の沿道は、複合用途地区として位置付け、商業、居住が調和した住宅地として形成します。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通沿線居住の推進地区である上滝駅や大川寺駅の周辺は、公共交通の活性化と併せて、上滝北地区の面整備を誘導しながら、居住の推進を図ります。</li> </ul>
農業・自然系	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の北西部に位置する農地は、農業保全地域として、虫食いの農地転用を抑制し、良好な営農環境を保全します。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大庄地区、東福沢地区、大山上野等の集落地域は、人口及び既存コミュニティを維持するための良好な生活環境を形成します。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の南部に広がる山林は、森林環境保全地域として、豊かな自然環境や景観の保全を図るとともに、森林を活かしたレクリエーションの場としての利活用を図ります。</li> </ul>

出典：富山市都市マスタープラン（平成 20 年 3 月策定時点）

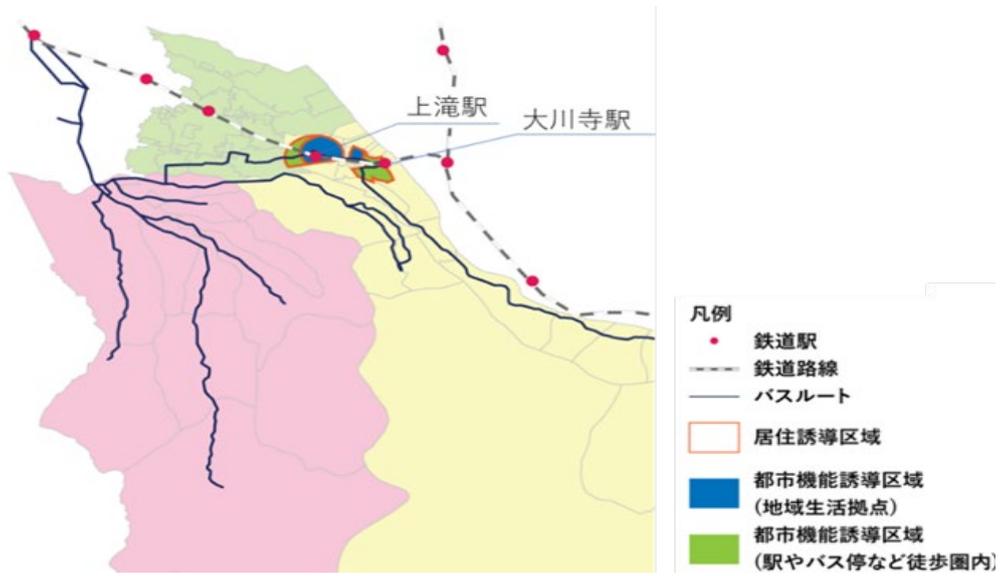
図表 14 大山地域のまちづくり方針図



土 地 利 用	凡 例
	地域商業地区
	住宅専用地区
	住居地区
	複合用途地区
	農業保全地域
	集落地域
	森林緑地保全地域
	水面
	鉄道
	主要幹線道路 (今後整備) ※事業中含む
	(構想)
	幹線道路 (今後整備) ※事業中含む
	(構想)
	地区幹線道路 (今後整備) ※事業中含む
	(構想)
	都市公園 (今後整備) ※事業中含む
	(構想)
	地域生活拠点
	地区区分

出典：富山市都市マスタープラン（平成20年3月策定時点）

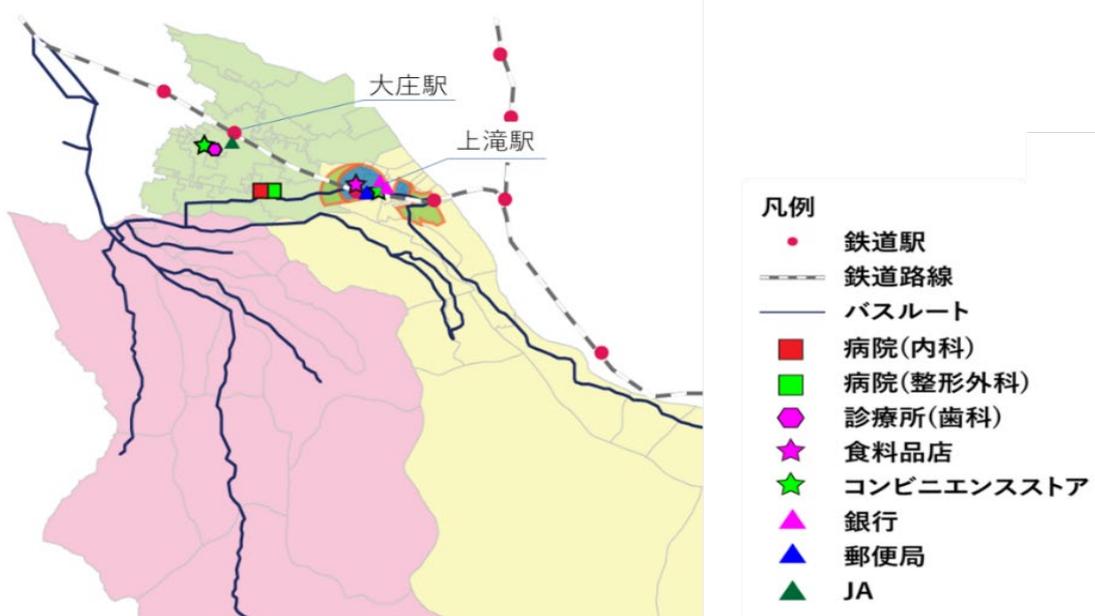
図表 15 大山地域の居住誘導区域・都市機能誘導区域



### (6) 民間施設の立地状況

民間施設の立地状況をみると、上滝駅～大山行政サービスセンター間と、大庄駅の周辺に、日常生活に必要な機能である医療施設（病院・診療所）や、商業施設（食料品店・コンビニエンスストア）などが立地しています。ただし、地域生活拠点内には、商業施設（スーパー）や医療施設（内科）が不足しています。

図表 16 大山地域の民間施設立地状況



### 3. 公共施設

#### (1) 現況

##### 1) 地域の公共施設一覧

大山地域には公共施設が 43 施設立地しており、その総延床面積は、約 7 万㎡、人口 1 人あたりの延床面積は約 7 ㎡です。

図表 17 大山地域の公共施設一覧

No.	施設分類	施設名	延床面積 (㎡)	築年数 <sup>2</sup> (年)	利用状況 (平成 28 年度)
1	集会施設	上滝地区コミュニティセンター (上滝公民館)	563.17	16	12.0% (稼働率)
2	集会施設	大庄地区コミュニティセンター (大庄公民館)	1,084.57	12	26.7% (稼働率)
3	集会施設	小見地区コミュニティセンター (小見公民館)	678.00	13	6.3% (稼働率)
4	集会施設	福沢地区コミュニティセンター (福沢公民館)	704.74	19	14.2% (稼働率)
5	集会施設	文珠寺公民館	423.05	37	6.1% (稼働率)
6	集会施設	牧公民館 (牧地区コミュニティセンター)	482.38	39	2.3% (稼働率)
7	集会施設	(旧) 上滝公民館岡田分館	154.71	32	-
8	集会施設	(旧) 瀬戸集落センター	125.87	25	-
9	集会施設	榎ヶ原集落センター	89.40	26	6.6% (稼働率)
10	集会施設	大山地域市民センター	1,593.69	53	8.8% (稼働率)
11	集会施設	大山農村環境改善センター	1,016.02	39	13.7% (稼働率)
12	文化施設	大山文化会館	2,658.48	38	3.3% (稼働率)
13	図書館	大山図書館	855.00	38	17,179 人 (利用人数)
14	博物館等	大山竪穴住居跡展示館	90.00	23	-
15	博物館等	大山歴史民俗資料館	806.72	35	1,452 人 (利用人数)
16	スポーツ施設	大山社会体育館	2,035.99	47	34,132 人 (利用人数)

<sup>2</sup> 平成 30 年度時点の築年数。

No.	施設分類	施設名	延床面積 (㎡)	築年数 <sup>2</sup> (年)	利用状況 (平成 28 年度)
17	スポーツ施設	大山 B & G 海洋センター (体育館)	1,102.28	36	2,241 人 (利用人数)
18	スポーツ施設	(旧) 牧体育館	491.30	40	-
19	スポーツ施設	大山 B & G 海洋センター (プール)	958.36	36	-
20	スポーツ施設	大山総合体育センター (スポール)	1,777.32	22	20,999 人 (利用人数)
21	レクリエーション・観光施設	農山村交流センター	1,727.26	20	55,244 人 (利用人数)
22	レクリエーション・観光施設	白樺ハイツ	3,729.31	42	52,353 人 (利用人数)
23	産業系施設	大山研修所 (温室、管理棟、 ポンプ室、作業棟)	830.16	31	-
24	学校	上滝小学校	6,539.00	38	106 人 (生徒数)
25	学校	大庄小学校	6,578.42	33	303 人 (生徒数)
26	学校	福沢小学校	3,217.67	34	30 人 (生徒数)
27	学校	小見小学校	3,197.24	36	23 人 (生徒数)
28	学校	上滝中学校	6,392.00	44	304 人 (生徒数)
29	幼保・こども園	大山中央保育所	497.79	29	35 人 (児童数)
30	幼保・こども園	福沢保育所	265.28	28	7 人 (児童数)
31	幼保・こども園	(旧) 上滝幼稚園	740.13	43	-
32	幼保・こども園	大庄幼稚園	498.58	35	24 人 (園児数)
33	幼保・こども園	小見幼稚園	509.33	31	4 人 (園児数)
34	高齢者福祉施設	大山老人福祉センター	1,038.39	41	22,047 人 (利用人数)
35	保健施設	(旧) 大山保健福祉センター	569.81	41	-
36	庁舎等	大山行政サービスセンター	2,063.77	61	-
37	消防施設	大山消防署	1,487.26	34	-
38	消防施設	大山消防署小見分遣所	245.11	12	-
39	公営住宅	新曙町団地 (市営・準公営・ 特公賃住宅)	4,137.06	22	-
40	公営住宅	殿様林団地 (市営住宅)	2,421.40	59	-
41	公営住宅	福沢団地 (市営住宅)	849.78	30	-
42	公営住宅	中滝団地 (市営住宅)	3,845.63	37	-
43	その他	大山車両センター	657.00	41	-

## 2) 各施設の配置

大山地域の公共施設は、公共交通軸である富山地方鉄道の周囲に多く整備されています。特に、上滝駅周辺には、公営住宅、スポーツ施設、幼保・こども園、集会施設、文化施設、図書館、博物館等の機能が集積しています。

また、公共交通軸から離れていますが、公共施設が複数立地している地域としては、福沢地区コミュニティセンター（福沢公民館）周辺、牧公民館（牧地区コミュニティセンター）周辺、小見地区コミュニティセンター（小見公民館）周辺が挙げられます。

図表 18 大山地域の施設配置図

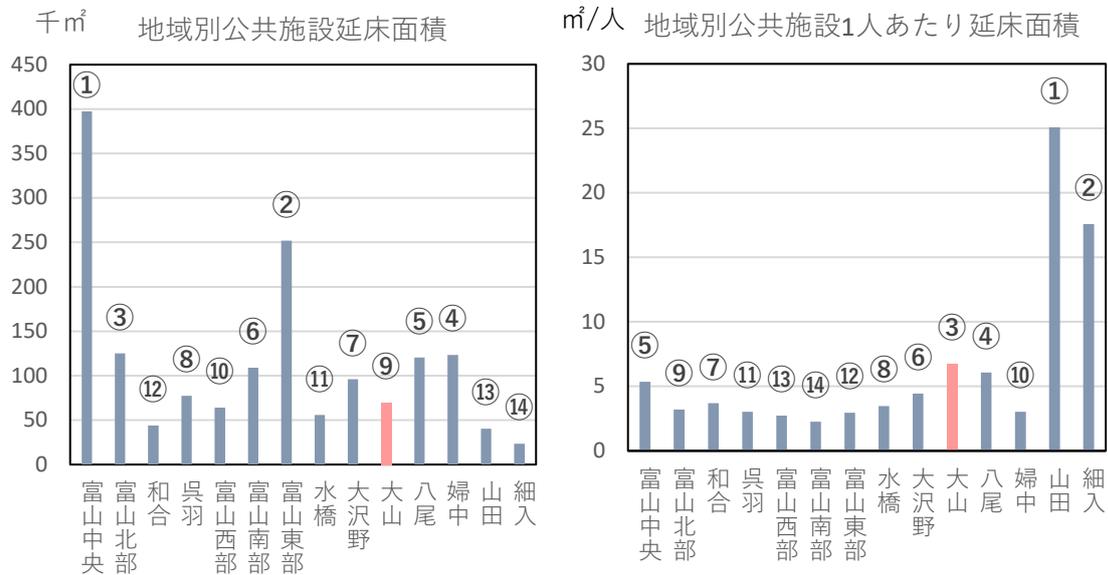


(C) OpenStreetMap contributors

### 3) 公共施設の状況

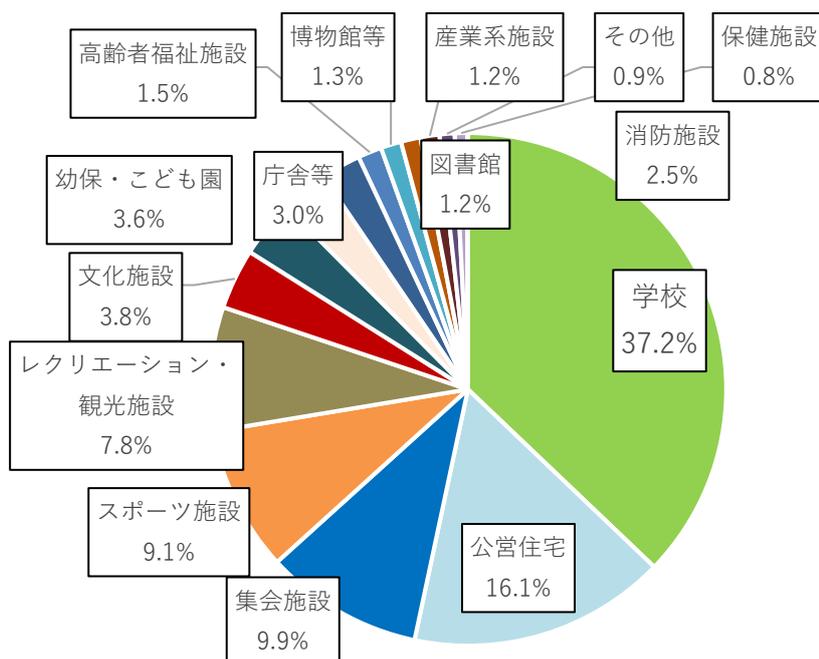
①公共施設の保有量について、延床面積を指標としてみると、大山地域は14地域中9番目となっています。しかし、人口1人あたりの延床面積をみると、14地域中3番目になっています。

図表 19 地域別公共施設延床面積と1人あたりの延床面積



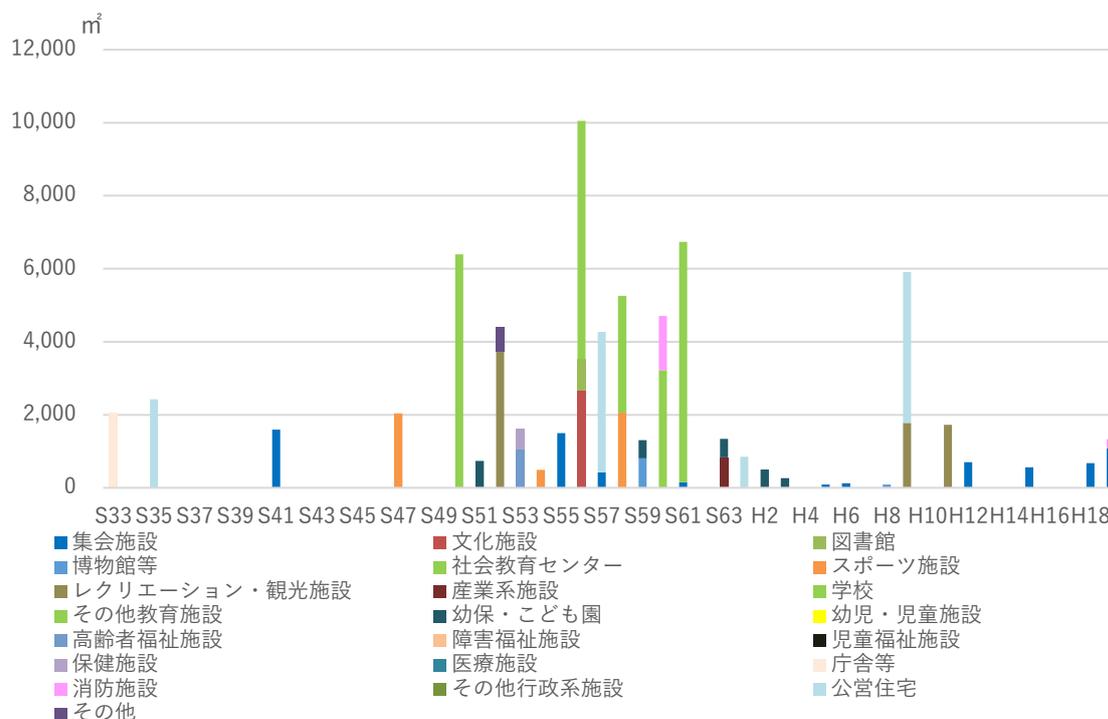
②大山地域の公共施設の内訳をみると、学校が最も大きく約37%、公営住宅が約16%、集会施設が約10%と高い割合になっています。

図表 20 大山地域の公共施設内訳 (延床面積)



③公共施設の整備年別延床面積をみると、大山地域では昭和 50 年頃から昭和 61 年頃までに多くの公共施設が整備されてきたことが分かります。これらの施設は現在、築 30～40 年経過していることから、老朽化が進み、改修や建替え、修繕が必要になることが予想されます。

図表 21 大山地域の公共施設の整備年別延床面積



## (2) 課題

大山地域の総人口は減少傾向であり、今後も減少が続くと予測されます。年齢区分別にみると、年少人口、生産年齢人口、高齢者人口のいずれの区分においても大きく減少し、特に年少人口と生産年齢人口の減少率が高いことから、高齢化率の上昇が予想されます。

人口の分布をみると、地域の一部で人口が集中しているエリアがみられますが、将来、多くのエリアでは現状維持、もしくは人口が減少すると推測されます

公共施設は、地域内に広く分布していますが、特に、地域の核である上滝駅周辺に集積しています。地域内の公共交通として、鉄道、路線バス、コミュニティバスが整備されていますが、このうち鉄道や路線バスは地域内で循環するルートとなっておらず、現在の公共施設は公共交通によって誰でもアクセスしやすい配置となっているとは言えません。

大山地域は富山市にある 14 地域の中でも最も広い面積を持つ地域であることから、公共施設のアクセス性については、十分配慮する必要があると考えられます。

商業施設や医療施設などの民間施設は、大庄駅周辺と上滝駅周辺に立地しており、人口の多い地区からは比較的アクセスしやすい状況です。しかし、商業施設に関しては、ホームセンターやコンビニエンスストアは存在

するものの、地域内にスーパーやドラッグストアといった日用品を扱う大型商業施設がなく、買い物など日常生活の不便さが考えられます。

公共施設に目を向けると、利用率が低い施設が多く、利用者のニーズにあっていない施設がみられます。また、すでに廃止された公共施設が有効活用されていない、空き地や空き家が増えてきているなど、資産を活かしきれていない状況があります。

公共施設の多くは老朽化が進んでおり、今後、更新費用が必要になりますが、人口の減少や高齢化の進展により財源の確保が一層難しくなると考えられます。

図表 22 公共施設に関する地域の皆さんのご意見等

施設分類	ご意見
集会施設	<p>【現状課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 100 人規模で集まれる部屋がないなど、施設の機能や規模が実情やニーズに合っていない。</li> <li>● 使い勝手の悪い部屋は稼働率が低い。</li> <li>● 公民館には調理室がなく、地域内で利用できる場所も限られている。</li> </ul> <p>【統廃合した場合の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 距離が遠くなり、集会の集まりが悪くなることが予想される。</li> <li>● 災害時にアクセスしやすい避難所がなくなることは課題。</li> <li>● 他地区の公民館を使うことには抵抗がある。</li> </ul>
文化施設	<p>【統廃合した場合の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 住民の文化・芸術活動のための場が不足する。</li> <li>● 成人式などの大人数が集まることができるスペースがなくなる。</li> <li>● 近隣の代替施設を利用する場合、自動車を使えない高齢者などにとっては遠く、利用しづらい。</li> </ul>
図書館	<p>【現状課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 子育て世代や多世代が利用できる施設が不足している。</li> </ul> <p>【統廃合した場合の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 市の中心部の図書館は遠いので、現在の規模や機能を維持してほしい。</li> </ul>
博物館等	<p>【現状課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域の中心から離れており、行く目的になるような施設となっていない。また、博物館の周辺に目的となる施設もない。</li> <li>● 利用者が少なく、今後も増加は見込めない。</li> </ul>
スポーツ施設	<p>【統廃合した場合の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 中学校の部活で利用されている施設は、廃止すると学校の活動に支障が出る。</li> </ul>
レクリエーション・観光施設	<p>【現状課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● スキー場は大山地域の魅力であるが、その魅力を活かしきれていない。観光の目玉として機能していない。</li> </ul>

施設分類	ご意見
学校	<p>【現状課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 児童生徒数がピーク時より大幅に減少している。</li> <li>● 居住地に関わらず、小学校を選択できるなど、多様な教育を選択できる仕組みがない。</li> <li>● エアコンが設置されていないなど、教育環境を確保するための改修が十分に実施されているとは言えない。</li> </ul> <p>【統廃合した場合の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域コミュニティの場が不足する。</li> <li>● 地区外の学校に通うことになっても、子供たちと地区との関係が継続できるようにしたい。</li> <li>● 学校が遠くなり、通学時の安全性や利便性の確保が現在より難しくなる。</li> <li>● 災害時にアクセスしやすい避難所がなくなることは課題。</li> </ul>
幼保・こども園	<p>【現状課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 園児数が減少していることから、園児同士の交流の機会が減り、活動に支障が出ている。</li> <li>● 保育園や幼稚園は制約が多く、利用ニーズにあわないため、利用されていない場合もある。</li> <li>● 子供を安心して育てられる環境が整っていない。大山地域には児童館がなく、現在の子育て支援センターは手狭である。</li> </ul> <p>【統廃合した場合の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 施設が遠くなったり、民営化して利用料金が高くなったりすると、利用者の負担が増える。</li> </ul>
高齢者福祉施設	<p>【現状課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 洪水時の緊急避難所になっているが、平屋建てで高台に立地しているわけではないため不安がある。</li> </ul>
庁舎等	—

### (3) 課題の解決策

公共施設の課題に対する解決策について、8つの視点<sup>3</sup>（地域の活性化を図る（拠点づくり、魅力づくり）、アクセス性を確保する、子育て環境を充実させる、学校教育環境を適正化する、安全性を確保する、将来負担を軽減する、必要機能を確保する、その他）に沿って、公共施設再編に関する解決策とその他の解決策に分類してまとめました。

図表 23 ワークショップ内で議論された公共施設の課題に対する解決策

視点	公共施設再編に関する解決策	その他の解決策
地域の活性化を図る （拠点づくり、魅力づくり）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 屋外のイベント施設を新設することで、多世代交流やイベントの場にする。</li> <li>● スポーツ施設を充実させて人を誘致する。</li> <li>● 様々な機能の複合により多様な世代のニーズに応え、世代を超えて人々が集う施設にする。</li> <li>● 新たな複合施設を住民の集う場として整備する。</li> <li>● スポーツ施設は積極的に民間に譲渡し、人を集めて地域を活性化する。民間の他の施設、商業施設も誘致する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 観光施設・宿泊入浴施設は、周辺施設との連携や宣伝により、魅力を高めて残していく。</li> <li>● 学校教育施設は、子供たちが地区外の学校に通うことになっても、地区行事に参加できるような工夫をする。</li> <li>● 観光地としての方向も考えることで、雇用も生まれ、活性化する。</li> </ul>
アクセス性を確保する	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 他地区の公民館を使ってもアクセス面で支障がないようにする。</li> <li>● 博物館等は来場者増加のため、人の集まる場所に移設する。</li> <li>● 複合施設を駅と一体化させてアクセス性を向上させることで、人が集まりやすくする。</li> <li>● 新たな複合施設には十分な駐車場を設置する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢者のためにも、公共交通を充実させることにより地区を活性化する。</li> <li>● 学校を統廃合する場合はスクールバスなどの導入を検討する。</li> </ul>

<sup>3</sup> 8つの視点は、大山地域の皆さんからいただいたまちづくりや公共施設に関するご意見を整理、まとめることで設定しました。

視点	公共施設再編に関する解決策	その他の解決策
子育て環境を充実させる	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 幼稚園を統合する分、保育園を充実させる。</li> <li>● 幼稚園や保育園を統合しある程度の数の園児数を確保することで、園児同士の交流の機会などを確保する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 保育所や幼稚園を民営化する場合は、利用料金が高くなりすぎないように仕組みを整備する。</li> <li>● 統廃合の前に、利便性向上や規制撤廃により利用者の増加を図る。</li> </ul>
学校教育環境を適正化する	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 子育て支援センターなど他の機能を併設した児童館を設置する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 小学校統廃合の推進と同時に小学校を選択制にして校区外からの通学を促すなどの工夫について検討する。</li> <li>● 図書館のネットワークの充実により利便性を向上させる。</li> </ul>
安全性を確保する	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自治会館や体育館、空き家を集会場所・避難所として活用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 公民館を廃止する場合は、代替施設に避難所機能を整備する。</li> <li>● 街灯の設置など、学校周辺の防犯対策を行う。</li> </ul>
将来負担を軽減する	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 空き家の活用などによって地域内に活動の場を確保する。</li> <li>● 観光施設・宿泊入浴施設は、20、30年後に地域を支える世代が十分に存在するかを考慮して残すかを定める。</li> <li>● 博物館などは縮小・複合して維持する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 観光施設・宿泊入浴施設はサービスを維持しつつ民間移行する。</li> <li>● 再生可能エネルギー等の利用によって管理運営コストを下げる。</li> <li>● 複合施設にして一人の職員が横断的に働けるようにして、必要な職員数を減らし、コスト削減を図る。</li> </ul>

視点	公共施設再編に関する解決策	その他の解決策
必要機能を確保する	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人口が少ない地域では、他地域の施設との統合により運営の効率を上げる。</li> <li>● 同じ公民館内の部屋でも利用頻度に大きな差があるため、利用の実情を考慮して施設の統合・新設を行う。</li> <li>● 大山文化会館の代替となるホールを地区内に新たに整備する。</li> <li>● ホールは可動式の椅子にするなどの工夫により多目的・多機能型とする。</li> <li>● 博物館等は、現在来場者が多くないため、他施設で展示を行い、今の施設は廃止する。</li> <li>● 駅と一体となった複合施設に様々な機能を入れることで、利便性を向上させる。</li> <li>● 複合施設に民間施設も入れることで、買い物なども便利にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 博物館等は展示の工夫などにより利用人数増加を図る。</li> <li>● 歴史民俗資料館周辺に他の目的の地を作り、また駐車場も確保する。</li> <li>● 現在の行政サービスセンターの機能を維持する。</li> <li>● 施設は減っても同様のサービスを提供する工夫をする。</li> </ul>
その他	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 集会施設の再編にあたっては、地区によって事情が異なるため、住民へのヒアリングに基づく判断・代替所の確保が必要。</li> </ul>

## 4. 公共施設の再編方針

地域の皆さんからいただきました公共施設の課題、課題に対する解決策などのご意見を踏まえて、大山地域の公共施設の再編は、以下の方針で行っていきます。

### (1) 拠点となる施設等

#### 1) 地域の公共施設再編の基本的考え方

大山地域においては、北西部の可住地である上滝地区、大庄地区に人口が集中しており、今後も地域全体の人口は大きく減少しつつ、当該地区に人口の集中が続く見通しです。

厳しい財政制約の中、持続的に地域コミュニティを維持し続けていくために、今後は、地域の資源を分散ではなく集中して配置し、そこでの利便性や機能性を高めていくことが求められていると言えます。富山市のまちづくりの方針である立地適正化計画においても、都市機能や居住機能を当該地区に誘導していくことが定められています。本地域での公共施設の配置についても、上滝地区・大庄地区に集中的に配置を行い、それ以外の地区は、避難場所等の適正配置による防災安全性の確保、地域の特色ある文化や地域コミュニティの維持などに必要な最低限の機能を残していくことにします。再編にあたっては、地区住民の意見を踏まえて検討を進めます。また、大山地域だけでなく、隣接する地域とも連携し、最適な施設配置を検討します。

#### 2) 優先的に取り組むべき施策

上滝地区の行政サービスセンター敷地、文化会館跡地のエリアにおいて、老朽化した公共施設の建替えを契機として、公共施設の複合化による集約を行います。コミュニティ活動・文化活動の活性化により地域の魅力を高める拠点とし、地域の意見を踏まえた機能を集中配置することで、地域の方が便利に利用できる場を確保するとともに、多くの人が集まって新たな活動を創出し、地域の活力を高めていくことを目指していきます。また、拠点整備にあたっては、大山地域の地域資源を活かした再生可能エネルギーを積極的に活用し、環境にやさしい施設整備を検討します。

### (2) 公共施設の再編方針

#### 1) 地域コミュニティの維持

既存の地域コミュニティを維持していくために、公共施設をその重要な場として位置付けます。生涯学習の場、地域の会合のほか、避難や消防団などの防災活動の場として、一定の人口に応じて、集会施設など、人の集まることのできる空間を地区ごとに確保します。

これまでより、多世代の人々が、多様なニーズで集まることのできる場を、できるだけ利用制約をなくして確保していくこととし、必ずしも独立した集会施設というハコモノにこだわらず、学校の余裕教室や、空き家の活用など、空間の形態は柔軟に考えていきます。

新たに地域の中心に、多世代交流拠点としての複合機能を設置します。地域の方々が数百人規模で一堂に会することのできる空間の確保とともに、様々な社会教育やコミュニティ活動が行える場を確保します。

## 2) 地域の活性化

複合施設において、スポーツをはじめとする地域の特色を活かした地域内外の方々が集うイベントの実施、マルシェなどの商業活動を行うことのできる場をソフト・ハード双方の観点から整備することにより、地域を盛り上げていくことを目指します。

## 3) 文化の振興

文化の振興を図ります。豊かな自然、水源地域としての伝統に根ざしたお祭りなどを活かし、文化コンテンツを伝承し、発展させる場として、地域の中心の複合施設を整備します。

複合施設においては、旧大山文化会館の一部、大山図書館の機能を再編しつつ、行政サービスセンターやコミュニティ施設の機能とあわせ、多様な方々が気軽に集まることのできる拠点作りを目指します。

歴史民俗資料館、竪穴住居跡展示館は、利用者が少なくなっているものの地域の文化を伝承する貴重な財産であることを踏まえ、より多くの人に利用していただくための工夫、より多くの人が集まる施設・場所への移転や他の施設との複合化を検討します。

## 4) 少子化対策

地域の子育て環境の充実を図ります。子供の数は将来的に減少していくことから、今後は施設の統廃合を進め、機能を集中させることとし、集約された場でサービスを提供するようにしていきます。これらの施設では、大山地域の豊かな自然環境を活かした教育環境となるように配慮します。

子育て中のご家族の方が、子育て以外の行政サービス提供をワンストップで受けられるように、また、多世代の方々が地域の子供の見守りができるように、複合施設に子育て支援機能を積極的に導入することも検討します。

## 5) 利便性の確保

公共施設の配置に際しては、アクセスのしやすさ、利用のしやすさなど、その利便性が損なわれないように配慮していきます。地域の方々は車を使って施設を利用することが多いため、各施設には駐車場を確保します。同時に車が利用できない方のために、バスや鉄道などの公共交通機関によるアクセスについても確保します。

上滝・大庄地区以外であっても、各地区の拠点となる施設にはバス等のアクセスが可能な配置とします。  
また将来的に学校を統合する場合には、スクールバス等、子供たちの通学に支障がない方策を検討します。

## 6) 安全性の確保

地震や水害、がけ崩れなどの自然災害に備え、避難拠点を確保します。集会施設や学校、その他の公共施設のうち、安全性が確保された施設を避難場所として指定します。

## 7) 財源の確保

市全体の公共施設にかかる財源の縮減の必要性に鑑み、利用ニーズの少なくなった施設の複合化等による整理縮小、また建替えの際の面積の縮小についてはやむを得ないこととします。

今後は、専用のハコモノにこだわらず、既存施設の積極利用や、建替えよりも長寿命化を図るなど、維持管理費を低減していきます。また、複合施設にすることにより施設面積を効率化していくとともに、管理する職員が横断的に働けるようにするなど、組織の見直しを図ることについても検討します。

また、再編にあたっては、民間活力の導入についても検討し、最適な整備手法を選定します。

## 5. 優先して取り組むべき個別具体施設の整備方針

公共施設の再編方針の実現に向けて、地域の拠点となる施設の再配置を優先的に取り組むべき施策（優先整備施策）として、整備方針を策定します。

### （1）基本方針

#### 1) コンセプト

優先整備施策では、公共施設の再編方針のうち、地域の活性化に重点を置き、「まちの活力を向上させる」ことをコンセプトとします。

#### 2) 対象エリアの設定

大山地域は上滝地区、大庄地区に人口が集中しており、今後も地域全体の人口は大きく減少しつつ、当該地区に人口の集中が続くとみられます。また、まちづくりの方針である立地適正化計画において、都市機能や居住機能を上滝駅周辺に誘導していくこととしていることから、優先整備施策は、上滝地区で実施することとします。

優先整備施策では、機能を集中的に配置して、利便性や機能性を高めることが求められることから、まとまった敷地を確保する必要があります。そこで、上滝地区の中でも公共施設の集積がみられ、公共施設の老朽化が進んでおり、敷地の確保ができる大山行政サービスセンター敷地、文化会館跡地のエリアを活用することとします。

#### 3) 機能

公共施設の再編方針を踏まえ、優先整備施策で核とする機能は以下のとおりです。

- ・ 行政機能  
現窓口サービスや業務内容を維持します。  
他の機能との複合化により、より利便性が高まるような工夫を行います。
- ・ ホール機能  
地域の方々が集まることのできる一定規模の多目的スペースを確保します。
- ・ 商業機能  
地域に不足している物販施設の導入を目指します。  
地元産品や飲食など地域外からの来訪者への物販等を事業性を勘案して検討します。

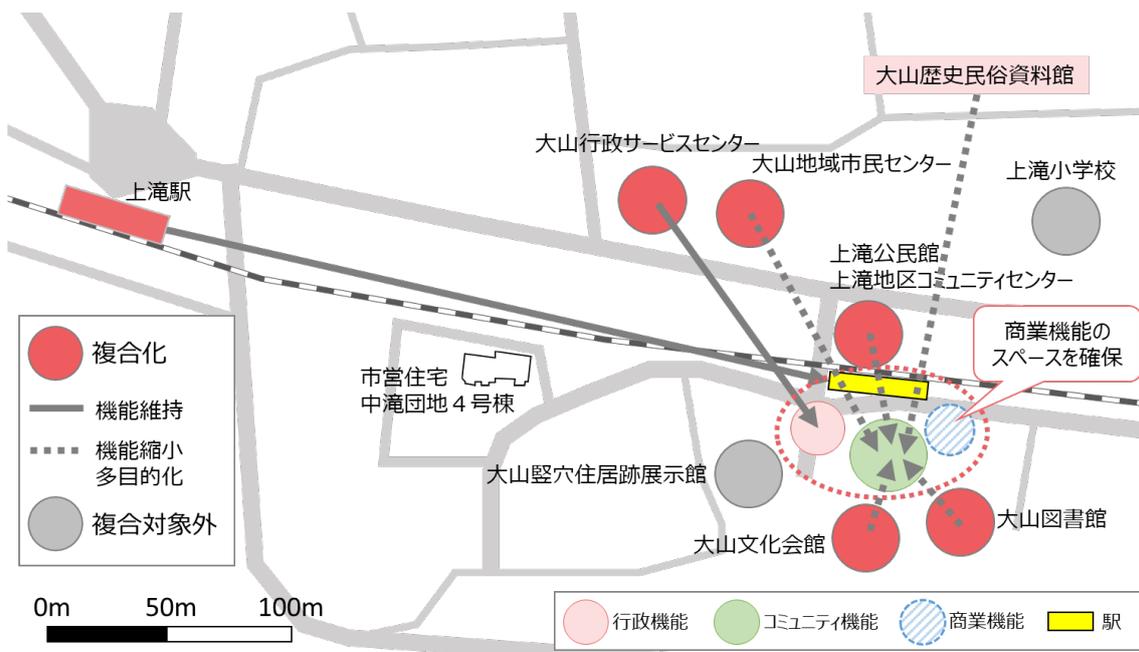
## (2) 整備方針

### 1) 優先して取り組むべき個別具体施設の整備方針

基本方針を踏まえ、図のような公共施設の再編を行います。

- ・ 大山行政サービスセンター、大山文化会館、大山地域市民センター、上滝地区コミュニティセンター、上滝公民館、大山図書館、大山歴史民俗資料館の機能を持つ複合施設を整備します。
- ・ 大山行政サービスセンターの機能は維持しますが、施設規模は縮小します。
- ・ 集会機能やホール機能は必要最低限確保します。
- ・ 「まちの活力を向上させる」ため、駅及び商業機能のためのスペースを確保します。
- ・ 再生可能エネルギーを積極的に活用し、環境にやさしい施設整備を検討します。
- ・ 地域の皆さんに親しまれ、誇りを持てる外観・デザインとなるような設計とします。

図表 24 優先整備施策の概略図



## 2) 期待される効果

優先整備施策の実現により公共施設の再編方針が達成されるか評価したところ、すべての項目において、現状より向上することが期待されます。

図表 25 再編方針別の評価項目と評価

公共施設の再編方針	評価項目	評価
コミュニティの維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニティを維持するための機能が確保されるか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニティ機能（上滝公民館・地区コミュニティセンター）が新規複合施設として整備・維持される。</li> </ul>
地域の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域外から人を呼び込める機能が確保できるか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>商業スペースの確保により期待できる。</li> </ul>
文化の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化活動ができる場が確保されるか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の方々が一堂に会することができるホールが確保され、文化活動の場が維持される。</li> </ul>
少子化対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て世代・子供に使い勝手のよい施設が維持されるか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>機能を複合化することで、日常生活の中で気軽に立ち寄りやすい公共施設が整備される。</li> </ul>
利便性の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通・自動車利用でのアクセス性が改善されるか。</li> <li>市街地へのアクセスが改善されるか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>駅移転等や複合化により発生する跡地を駐車場利用することなどで、利便性拡大が期待できる。</li> </ul>
安全性の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震性は改善されるか。</li> <li>避難所として想定する場合、十分な機能は確保されるか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震性に課題のある施設が解消され、安全性が確保される。</li> </ul>
財源の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>民間活力をどの程度活用できるか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>駅移転等や商業スペースの確保により商圏の拡大が期待でき、収益性の観点から民間提案の幅が広がる。</li> </ul>

## 6. おわりに

本地域では、「5. 優先して取り組むべき個別具体施設の整備方針」で定めたとおり行政サービスセンターを核とした地域の活動拠点となる新規複合施設の整備を目指します。また、その際には、ファシリティマネジメントの視点をもって、公共施設の複合化によって安全性と必要な機能を確保しつつ施設総量の縮減を図り、整備費、維持管理運営費等の軽減を図るとともに、複合化によって生まれる跡地について、民間事業者のノウハウを活用しながら、地域の活性化や利便性の向上、地域におけるまちづくりの推進を図ることとします。

優先して取り組むべき個別具体施設の対象とならない公共施設については、今後5年ごとに策定していくアクションプランにおいて、建物老朽化度や利用状況、コスト状況等の評価により課題のある施設として抽出された時期にあわせ、集会施設、スポーツ施設、学校等の施設用途別の視点と市域・地域・地区といったエリアレベル別の視点から客観的に方針決定を行っていきます。その際には、特に地域・地区レベルの施設については、より地域の意見を反映する必要があることから、本計画で示した「地域コミュニティの維持」や「地域の活性化」といった7つの視点からの再編方針を優先して、具体的な再編整備方策を決定することとします。

本計画は、地域の実情やニーズを踏まえ、地域住民の皆さんが主体となって、地域の公共施設等の再編を具体的に進めていくために定めた基本方針であります。市でも、こうした地域住民の思いを大切にしつつ、公共施設の再編を単なる床面積の縮減だけを目的とするものではなく、地域のまちづくりの契機とし、大山地域が抱えている公共交通機関の利便性の地区格差や日用品を扱うスーパーなどの商業施設の不足などの課題解決に向けて、長期的な視点をもって住民の皆さんと一緒に取り組みを進めてまいります。

### 【参考文献】

大山の歴史編集委員会（1990）『大山の歴史』大山町

※「天皇の退位に関する皇室典範特例法」が平成31年4月30日に施行されますが、本計画の作成時点においては、「元号を改める政令」が公布されていないことから、同日以降の表記についても、便宜上「平成」の元号を使用しています。

# 地域別実行計画

## -大山地域-

平成 31 年 3 月

編集・発行 富山市企画管理部行政管理課

〒930-8510 富山市新桜町 7 番 38 号

TEL 076(431)6111 (代表)